

L-カルニチン静注の CERA とダルベポエチン (DA) における 貧血改善効果の差異

長崎腎病院

○田中奈留美 内山浩子 林田征俊 手島和代 山口由紀 久保純子 熊博和
丸山祐子 宮崎健一 李嘉明 澤瀬健次 橋口純一郎 原田孝司 船越哲

【目的】

CERA と DA 投与中の透析患者に L-カルニチンを静注投与し、貧血効果改善のパターンを比較する。

【方法】

当院で維持透析中の患者 120 名 (CERA81 名、DA39 名、平均年齢 75.2 歳) に文書で同意を得た上で、L-カルニチンを毎透析後に 1000mg 静注投与し、Hb 値を至適値に保ち、赤血球造血パラメータを比較する。

【結果】

観察期間 3 か月の時点で平均月間 ESA 投与量は、CERA で 85.06 ± 28.6 から 76.33 ± 29.6 へ、DA で 83.88 ± 30.3 から 73.51 ± 32.6 へ、それぞれ有意に減少した。また、網状赤血球は L-カルニチン投与前で CERA が 2.2%・DA1.49 と差があったが、投与 3 か月後にそれぞれ 1.6%に収束し、MCV では CERA 群で低下、DA 群で上昇する傾向にあった。

【考察】

L-カルニチン静注投与にて ESA は減量可能で、L-カルニチンの造血作用が両 ESA で異なる可能性が示唆された。